

アルクカラ カンガエル

エイゾウ

イチ

ニセンジュウサンネンは、さくもつのサイバイをはじめた。わたしがちいさなころにさいていたタンポポがきになっていたからでもある。また、おやじがカテイサイエンをてにかけていたからでもある。

タンポポのくきのブブンからうえがなぜかなかったり。あとになって、シヨクリョウにリョウされているのだらうとおもった。まあ、ちいさなピーマンのようだ。だからというか、いや、むかしからはえていたのできになった。で、サイバイをはじめた。

そのチヨクゴ、あるゲンジツとむきあうことになった。セケンというか、でうわさされていたが、まあ、ジツサイにであうとだ。ノウギョウヨウのヨウグをかいにいったサイに、それにみまわれた。

そうなってほしくないのはわかる。しかし、そなえなければいけなくもある。

ノウチのヒガイもタイオウをとおもっていたが、こいイツパツがこないかぎりそうきびしいタイオウはヒツヨウなさそうだと（チュウ…「コウサ」「チュウゴクからとんでくる」といわれていたが、イオウサンカブツだろう）。ニネンたつてそうおもう。

二

チュウリュウとはよくいったりすることばだが、チリテキなイミもふくめていうことにきづくようになった。そして、トシのナンモンというかにもきづいた。いまのトシはカリユウのホウにあつたりする。トシではセイサン（ノウギョウ）できないから、シヨウヒシャということばがうまれる。

サン

ニセンジュウヨネンはるに、オンミツ（エドバクフのミツテイだ）のシツパイがあつたカノウセイをみつけた。オンミツはカクシヨでカツドウしていたとおもわれるが、まあ、エドバクフがひとつのケンエキをおとしたと。それはやがてナンポウへのシンシユツにもつながる。

わたしがいう、センシンコクビヨウ（センシンコクのジャクテン）にもカンレンするが、まあ、ダイエイテイコクにもつていかれたんだろう（チュウ…あるキにカンするケンエキというかである）。だから、エドバクフのジダイには、ニホンジンのナンポウシンシユツはケツテイテキだったといえる。そういうシツパイがうかがわれた。

ヨン

シツパイにこだわるとしたら、サイドチヨウセンするんだろう。キュウジュ

ウネンダイに そうしたシツパイを カイフクするようにしていたとおもうが（チ
ユウ…あるキにカンするケンエキである。グタイテキにいうと、カエデのである。）、
ケイザイコウゾウにながされやすかつたのだろう。セキユのホウに いてしま
つた。たしかに ジュウヨウなシゲンであるが。

やりなおすのは むずかしい。だから、くみかえさくもつや シンカロンを シジ
しなくてはならないかもしれない。「ヘイワ」がおわれば。

このジュウネンで くみかえは すすんだのだろう。ジュンスイな シュを ま
もるのは むずかしくなっているのでは。

ゴ

ジハンキは、このサンジュウネンで かなりふえたが、なつにつめたいのみも
の、ふゆにあたたかいのみものしか うってなかつたりする。ふゆでも、アイスコ

ーヒーをそういうことでない。ジヨウオンのものがなかつたり　ということだ。シヨウテンにたまにあるが、コウバイのむずかしさをかんがえると、「あなたはあたたかいコーヒーをのむべきだ」とケツロンされるかも。そのくらい「ジヨウオン」ののみものをコウバイするのはむずかしい。

しようがなく、あたたかいのみものとつめたいのみものをまぜていいオンドにさせたりすることになる。ま、ゼイタクといえはゼイタクだが、ネンリヨウのムダづかいというきがする。

なぜ、ジヨウオンではいけないのかと。ま、あつたかくて、うれしいときもあるのだが。たぶん、「センシンコク」として、ゆめのようなサービスをしなければならぬのだろう。

ま、テキリヨウずつまぜあわせれば、テキオンののみものができる。バイリヨウコウニユウすることになるが。そうか、シヨウバイだ。

はながさくジキさかないジキがある。イツコシユルイのことをいつているのだが。でも、ま、はなのツゴウなんだろう。さくジキがまちまちだったりする。ま、かんがえてみれば、いまはふゆだといっても、みなみハンキユウのホウではなつだったり。ダイタンにいえば、どこかははるで、どこかはふゆだから、あのはなははるにさくといつてもゴサがでるんだろう。

キヨネンにわでさいたはなもよかつたが、ことしのもよかつた。とりもよい。ナナネンまえは、むくどりのすをみてたり。そういえばキヨネンのはる、むくどりきていたかな。アンガイキヨネンのはるははとをよくみた。シゼンがおしえてくれるっていうのがあるかな。ノウサギヨウをやるようになってからそうおもう。

シチ

わたしもそういうところがあるが、どこかしらに「あし」のモンダイがあるよ
うだ。ジドウシヤのことを「あし」とよんだり。トクにサツコンはジドウシヤ
シヤカイ。そのキドウテキナ「あし」がないとこまつたり。みのまわりをみても
「あし」があつたりする。いす、タク。ヨウフウならねどこと。よつあしはヒ
ヨウジュンテキだが、たまにすごいのが、でもみたことないのでやめておく。
ま、セイヨウブンカというかやすつぽいまねされただと、よつあしのうえに
ねるだろう。ま、うしとか、うまとかのうえにねる「え」だ。それだけシハイと
いうものがカクリツされている、されようとしている、されていた。セイシヨの
キジュツにあつた。ただ、いくらブンカテキナジユウドがあつたとしても、そ
の「え」のようにセイカツできるのかと、とうてしまふ。

いぬをかつたことがあるが、それなりにアイジヨウをもつし、そういう「口

ウエキ」をよつあしにかけられるかと。ほかのドウブツで かんがえなくていい、ニンゲンでも、だれかがよつばいになっているうえでやすめるかと。ただ、その「え」をタッセイするようなセイヒンはなにもいわないだろうと。それはそれとしても、そういうタッセイを（あなたや わたしのタッセイではない。タブン。）あじわえるのだが、イワカンなくリヨウできるだろうか。

ま、シヨミンのブンカでないと おもってしまふ。

ハチ

おととし ゆずのきが のびていたので ていれをしようとおもったら、おふくろがさきにだれかにきらせてしまった。ケツカ とげができた。ばらも こうやって とげができたのかと ナツトクした。のばらにはげんに とげがない。とげがあるのも あるかもしれないが。

その「いかり」はイチネンほどではしずまらなかった。ニネンハンほどだったがまだのこっている。

キユウ

「キ」でまけたら、やっぱりまけになる。ここでの「キ」は、まけんキ などの「キ」である。ウンドウキョウギなどでのことだ。わたしはタツキユウでそれをかんじたが、ソウゾウというのもダイジなんだろう。かつソウテイでキョウギをする。まけキチヨウ(チヨウシ)になってもねばってかちキチヨウをとりもどすと。ニセンジユウサンネンにもそうおもったが、キョネンもそう。アンガイ ニンゲンカンケイもそうかもしれない。

ダブリユハイ(セカイタイカイ)がロクガツにあつたが、それもおなじ。やわらかいたまをけるのではなく、モクザイをけるとかタンレンにはいろいろある。

ジユウ

セツスイ（みずのセツヤク）のドリヨクをキヨネンのはるにしていた。カンバツのケネンがあつたからだ。みずをうまくサイリヨウしたり、ベンジヨにながすのをへらしたりで、アンガイドリヨクができる。やっぱりベンジヨとフロとセンタクだろうか。ベンジヨはむかしながさなかつた（スイセンではなかつた）。フロもむかしはなかつたから、このふたつをセツヤクするとトウジつぽいリヨウリヨウになる。

フロのみずでベンジヨをながしたり、シヨツキをあらつたあとのみずでながしたりもできる。ケツコウシヨツキあらいもシヨウリヨウですまない。ちやんとおけをよいしてあらうべきだろう。

ドリヨクのかいあつて、ノウギヨウヨウにみずをまわせたし、おもわれたカンバツにもならなかつた。フロおけイツパイのみずでイツカゲツはひとりブ

ンまかなえた。ま、ケツコウなドリヨクだから、トシカしたニホンジンにはむずかしいチュウモンかもしれない。

ジユウイチ

ちよつとさそいがあつたら かんがえてみる。オンガクにさそわれたら、エイガにさそわれたら、（みるのではなくて）それをつくってみることを かんがえる。もし、あなたが ひまだつたらだが、そういうことを やっているとタイクツしない。モチロン、すなおにみにいっても タイクツしないだろうが、おかねがでていってしまう。おかねをへらさずに、しかも タイクツしない。そうやって シュミはふえていくとおもう。カンセイケイに こだわることはない。じぶんなりにカンセイさせればいいのだ。

ジユウニ

はるには、シヨクブツのはがまつかにそまる。みなみハンキユウのあきだから、などとじぶんなりにかんがえる。おそぎきはななんかもあったりする。かんがえてみれば トウゼンで、ニンゲンのツゴウどおりに シヨクブツがうごいているわけではない。そういうヘンカもいとおもったりする。

でも、ま、みなれたのがいいとか おもうと そういうヘンカのブンを ていれしたりする。ま、なかなかヘンカに タイオウっていうのは むずかしい。まだまだベンキョウチュウ。

ベンキョウチュウだからたのしい。すべてをしまってしまおうと クツウかもしれぬ。ま、そうなるのは ダイタイとしよりになっただらうけど。

ジユウサン

あめがきもちいい。よくカエルがなくこえをきいたもの。しかしところによつては そうもいかない。そういう なぎこえを きけるところが へつているかもしれないが、そういうところを イジしてほしいとおもう。トシばかりふえても たべもののうばいあいになるわけだから。ダイジにしたいものだ。

ジユウシ

くにのシユシヨウは いろいろなところについて はなしたりする。そこで、ワフク(ききもの)では どうかなどと おもつてしまった。ただのワフクではなくて、うごけるワフク。むかしは そういうかんじで サムエとか かんがえたかもしれないが、そういうワフク。ただのワフクだと ロウドウシヤっぽくない。だから うごけるもの。

ジユウゴ

フウセツテキなイリヨウジヨウホウがきらいだ。それをきいたひとは、なにかがなにかによい、とか、なになにをたべるとなにになりやすい、とか、そのジヨウホウをだれかにいつてみたり。よけいなおセワだ、とおもう。なにがなににいい、とかならまだいいが、そのてのジヨウホウは、ごジブンのあたまのなかにシユウノウしたままにしておいてくれって。

ダイタイイシャじやないんだから、セイブツガクシャでもないだろう。もとめられたときだけにしてくれって。「クンシ あやうきにちかよらず」である。

ジユウロク

めしにシヨウユをかけてシヨウユハン。くろずをかけてくろずハン（チュ

ウ…いわゆる「くろろず」でなく、「ソース」のことである。でもおいしいのはリョウリの「のこりじるをかけたごはん」。「のこりじる」というのではなきけないかもしれない。「あまつた たれ」といおう。だからどんぶりにするんだ。

ごはんのばあい、たれがのこったさらにごはんをうつして、たれをつけてたべるのがむずかしいからどんぶりになる。あげものをしたあとの あぶら（いもものをあげたのなら トクによし）をつかつて やきめし。これもうまい。

ジユウシチ

かきごおり、むかしはみどり、き、あか、とかぐらいの たれ しかなくつた。そのあと、あおとかむらさきがくわつた。でも、カテイで、シハンの たれをつかい つくれるようになってからは、かきごおりにかんする キョウミはうしなわれた。しかし、いまかんがえてみれば、あるくにて たべた、ギユウニユウと

くだものをのせたものはすごいとおもう。

ジュウハチ

おおきなソーセイジ（ベツないかたがあるがまあ）をたべた。ニホンジンなら、ちくわとかをたべるのがただしいか、かまぼことか。それができなかつたりするから、「アイデンテイテイ」だなんだのむずかしい はなしをするのだとおもう。

ジュウク

うまかったとおもう ヤタイリヨウリ ジョウイサンイは、イチイ、テンプラ（いわゆる、テンプラでなくて、ポルトガル「だとおもう」リヨウリとしての、テンプ

ラである)。ニイ、ハンバーガー。そういえばこのまえみかけたが、かうのをわすれた。サンイ、ぎょうぎ。やきとりもいいし、ステーキはあいにくたべたことがなかった。でも、やっぱり、ヤタイがそこそこキョウソウしているからうまいんだと。そういえば、さかなのしおやきもいい。とうもろこしをやいたものはサイキンみないような。

ニジユウ

しごとはジブンをたすける。しごとをしないとあたらしいしごとがあつたとしてもみのがしてしまいかねない。しごとをしないと、タイクツになって、シヨウヒシヤになりかねない。

はじめは、しごとっていったってあかじだろうし、ばあいによつてはかつてやるようだろう。しかし、そのしごとをやつていけば、タイクツしないしそのほ

かに そんなにかねをつかわない。タンジュンないかたをすれば、シユミがコウじてしごとになるような。わたしもオンガクとかやっていて、ロクオンしたものをつくれる。ほかには、ズイヒツをしたりで、こうやって ほんをつくれるようになった。ほかにも エイゴとか リヨウリとか また、セイヒンもつくっている。

しごとをしていれば うまくなるし そうすれば よりヒンシツのたかいものをつくれる。ほかにも あたらしいクフウをおもいついたり。なにもしなければ ないもできない。わたしは、しごとの「キ」をそだてて みがなる、というふうにおもっている。しごとをそだてると、はたさくも ショシンシャだが、いろいろあつておもしろい、はながさくときれいだし、みができればしめたもの。

ニジユウイチ

かかないと ジをわすれる。わりといわれることである。かといって ムダにか

いてもしようがないし。なら、からかきをしよう。ジをかくすぶりである。

ニジユウニ

わたしはなにかをタッセイするとマンゾクをおぼえたりする。いったことをやるというのはわりとよくあることだ。でも、チュウガッコウで、いったエイゴのモンクはいまだにタッセイしてなかつたり。「アイプレイテニス」なんかはそのテンケイである。「アイプレイギター」はタッセイしたがたまうちのホウは、タツキユウ（テーブルテニス）はやつたりするものの、タッセイはされていけないとみるべきでは。

だからそういうエイゴキョウイクをカイゼンしたホウがよいとおもう。「どうせ、うそだろ」じゃしようがないのである。いつかたまうちをタッセイしようとおもっている。こういうわけでニホンのエイゴキョウイクはコクサイテ

キにサイテイときれているようだ。

ニジユウサン

まえに みずのセツヤクをしている はなしをした(●ジユウ)。センタクもそのドリヨクのイチブである。センタクキをまわせばそれなりにきれいになるが、みずをセツヤクしているときの キジュンからいうと、ハツカブンとか つかつてしまう。だからであらい。でも、センタクにつかたみずをながさないで、サイリヨウするホウホウもあるが、テキトウな ホゾンヨウキがなかつたので、センタクにつかたみずの サイリヨウはできていなかった。

どうせなら センザイをつかわなくてもある。タンジュンな シゼンケイのセンザイならいいが、そういうのは みつからない。そのまま はたけとかに まければいいのだが。タンジュンな よこれは まあまあおとせるが、カガク(ヤクヒンな

ど)よごれはなかなかむずかしい。それをどうおとすかが コンゴのカダイである。

ニジュウヨン

サイキンのデンサンキ(モジをうったり、ブンシヨウをおくったり、インサツしたり、かいものをしたりする あれである)は ふたつのサギヨウをドウジシンコウさせるらしい。それがすごいのかというと、まあ、しごとができる、はやい、ということなのだろう。

しかし、ジュウキウセイキの エイコクでは、みつつの しごとができるひとがシツギヨウしていたらしい。だから、タンジュンにいえば、ふたつのサギヨウでも、みつつのしごとでも だめなんだろうと。だめ じゃないんだけど、それじゃシツギヨウシヤのなかまいりと。

じゃあよつつかなのだが、そういうデンサンキもあるようだ。だからよつつのしごとはいまのキホンといえそうだ。ただ、いつのダンカイで、ふたつのサギョウをするデンサンキを、シツギョウさせるかはわからない。

ニジユウゴ

さきに、みつつのしごとができるじゃあまいとかいた。ゲンザイはよつつのサギョウができるデンサンキがあり、また、ニンゲンもよつつのしごとをできるぐらいがジユウキユウセイキのエイコクのキホンだったようだ。たしかによつつのしごとはできなくない。しかし、よつつのサギョウができるデンサンキに、ぼううで（ロボットアーム）をつけたら、ニンゲンのロウドウシヤがシツギョウしかねない。だってユウシユウなんだから。ガツコウでまなぶジヨウホウもちいさいキロクブヒンにおさまってしまううし。

じゃあ どうすればいいかというと、やっつのしごとをすればいいんだろうと。「デンサンキをこわせ」じゃ「またか」になってしまふ。センジユカンノンのえがうかぶ。かしこいひとは、デンサンキからまなんでいるんでしょうね。

ニジユウロク

もし、あしたにダイハカイ（とんでもないソウラン）がおこるとしたらもうくにはやくにたたない。ダツシユツヨウのウチュウセンがハイビされているとはきかないし、もしひがしがわのくにでも、ドクジにダツシユツをこころみるのだらう。そういうイミでの「コツカのおわり」はカクジツそうだ。

ニジユウシチ

なつかしいあじ。おいしいよりも、そういうあじがカチがあるかもしれない。カテイリヨウリのデンシヨウがおこなわれていなければだけど、デンシヨウはなかなかむずかしかったりする。

あるときニセンジユウヨネンのゴガツだ。あげものをした。タンにあぶらのシヨウミキゲンぎれがちかづいていたのでやっただが、なべをイロリのようなところにおいてすこしずつあげる。あげものはだれかがタイリヨウにあげてでなく、それもいいんだけど、すこしずつあげてたべるのがいい。ケツキヨクなべぶぎようのようなひとがはしをもつにしても。

えびをあげたり、やさいをあげたり。いいあぶらをつかうのがこつですかね。つけものをヨウイしておくですっきりする。もちもいいしうまくやればいためごはんもできます。あと、だしのでたあぶらはおダイジに。おいしいですから。

ニジユウハチ

きられてきずついた ゆず（●ハチ）。イチネンたつて、ちよつとだけみがとれそうだった。それをわすれてセンチイしてしまい、そのちよつとだけのちいさいままの しゅうかくのみとなった。でもにおいはするしほんものである。それをみずにいれて そのみずをのんだ。うまい。ラムネとかレモネードとかいうけど そういうことだ。「ラムネ」はライムを、「レモネード」はレモンを。ゆずだから ゆずすいにしとく。あとから あじつけをしてもいいが そのままがうまいかな。ゆずブロもいいですが、ネンカンとおしてのめる ゆずすいもいいと。ま、シハンのもできますが。

ニジユウキユウ

キというのは、ホンライテキに、したのホウのみきが ロシユツしているのかと。しつかり カイソウテキになった キは みごとだが、ニンゲンが てをつけて

しまつて、したのホウが ロシユツするのではとおもう。だからうえのホウにハンモすると。もし、ニンゲンがてをつけたとすれば、なぜはしごをつかわなきやみがとれないかたちにするんだらう。はしごやのサクボウか、つておもう。でもかうホウもわるいんだな。

サンジユウ

サイキン、シヨウユヤソースをかけて（ごはんにでなく、おかずに）たべることをしていない。たれがあるところがうのだが、それをいうなら、チュウカそばがヒジヨウにもつたいないともう。あれ、しるをのこすひと おおいでしょ。ゾウスイみたいにしてたべればいいけど、はやらないのか。

チュウカそばのたれはいろんなリヨウリにつかえる。タンにコクモツをたべるだけでなく。うみをわたると、そばのうえにギユウニクをのせたりするが、

そういういいものにあのたれをつかいたい。やきぶたもわるくないが、さかなとかにもいいたれでなからうか。あじのみそだれとか、さばのとんこつふうみとか。もうひとついいたれがありますが、それはナイシヨ。

サンジユウイチ

「のばら」や「ます」（たしかシユーベルト）などのキヨクがめざましドケイにキロクされていたものをつかっていた。そういうのを つくろうとおもえば つくれるんだらうけど、ケイタイデンワで やるてもあった。そのホウがてつとりばやい。

ジュウゴネンまえの ケイタイデンワでそれができて、サイキンのだと ガツシヨウまでならせる。さすがにそんなユウガなキブンで おきたいとおもわな
いが、「ゴシユジンさま、キシヨウのおジカンです」とかなまごえをキロクし

ためがましができそう。まあ、もっとゲビたかんじで やったほうが いいんだ
ろうけど。

サンジュウニ

ゆずすい(●ニジュウハチ)のかわりに、たまたまてにはいらなかったので、
りんごすいをつくった。まあ、これもうまい。ただ、あまりすっぱいのだと
さげなくなってくるので、すっぱいのはなにか たしたホウがよいとおもわれ
る。

サンジュウサン

ニクとニクじる、どっちがダイジなのかと。やっぱり かたちというか シツ

リヨウのおおきいホウが ダイジなんだろう。なにしろ ニクだから。だからといって ニクじるもすてがたい。でも、かつおだしとかで、ニクのホウを ダイジにしなかったから（ほかのリユウがあるにせよ）ニホンジンは タイカクが ちいさかったんだろう。いまは カイゼン チユウか。へんに ニクのおぶらみを ありがたがったりしているみたいだけど。わたしは しもふりより あかみハです。

サンジユウヨン

「チンモクはキンなり」と、わかいころは そんなことばもわすれて なにかしやべろうとしたり。いまでも ついしやべりすぎた っていうのは ありますが。ケツキヨク なにもないのが よしで、それをおもんじると。なかなかなにもない、にもつていけなかったり。でも、「かがやき」はひとを だまらせるといふフウにも かんがえられる。でも、ニンゲンって、しやべりだしたら ケンカするぞ って

いうカクゲンかもしれない。それぞれですからね。

サンジユウゴ

もし、ひとがキンだったら、いえは「キンコ」。たくさんはいる「キンコ」もあるし、あまりはいらない「キンコ」もある。でもいい「キンコ」は、いい「キンコ」なんだろう。でも、リュウツウというか、たまには そとに でまわっている かんじがいいですね。

サンジユウロク

オンガクをやりはじめて ニジユウネンイジヨウたつ。ゴ、ロクネンまえから、わりとふつうのオンカいは そこそこひけるようになって、ハンオンあげたり、

さげたり、レンシユウをするようになった。で、ジブンなりのリロンというカオンカイをかんがえたり。で、イツコおもしろいオンカイをみつけた。ま、キカイがあればヒロウするのも。

カラオケというのは、エンギみたいなのですきでないが、ドクソウするのにいかも。ドウヨウみたいなのはなつかしくおもう。カラオケじゃ、モホウにすぎない。ツイカテキな「ドクソウ」なら、いいしごとかもしれません。

サンジユウシチ

ダブリユハイサッカー。キヨネンはジカンがなくて、あまりみることができなかった。ま、ゴネンまえのタイカイではちよっと Netz をいれてみていたが、キヨネンのはである。ま、ニカイセンにいけるかぐらいにおもっていた。でも、いけなかつたみたいだ。

「カップ」というのにゲンブツは「カップ」じゃなかったり。だからスープとかさげとかあれつかつてのめないな。

サンジユウハチ

めしとヤサイもり（チュウ・「サラダ」といわれるあれである。）をカゴウさせたらどうなるか。ヤサイずしとはいわないか、でもそういうフウミになる（タングジュンな たれをつかえばトクに）。ヤサイぎらのホウにニクがあれば、ケツコウなごチソウに。ちらしずしとか。それにきづいてからしばらくは、ごはんとヤサイもりがでるたびに、すしにしてたべていた。くろずめしもなかなかうまい、いわゆるくろずでないのですが。

サンジユウキユウ

ケツキヨク、たたかいつていうのは、くにとか おおきいもの のためにでなく、
アイしたちいさなもの のために たたかうのではないか。だから くへのへい
には キュウリヨウがヒツヨウなのだろう。

ヨンジュウ

ゼンコウ、よいおこない、をつみなさい、とおもう。アクギヨウより ゼンコ
ウのホウがいいし。タンジュンに キゾウしたり、ロウドウリヨクを だしたり。
ジブンにも まわってくれば たすかるし。ま、ゆずれないブンはあるけど。

ヨンジュウイチ

おとなになるっていうのは、あるブンを ダツピすることだとおもう。ま、こ

どもよしのブンカとか、ミジクなブンカとか。キヨクロンすると、キヨウイク
でうけたナイヨウからもダツピしたホウがいいだろう。ナイヨウと
いうわけは、キヨウイクでうけたガクシユウするよなギジュツは
ダイジにしたホウがいいとおもうからである。

ナイヨウはどうせだれかがかんがえたことで、デンサンキの
ユガタキロクブヒンにおさまってしまうよなことだからである。
わたしやあなたがかんがえたことでないし。ぶつぶついつて
あそびたきや、キヨウイクテキななにかとあそんでいるのも
いいかもしれない。

ヨンジュウニ

「にが」というのみのものをつくった（チュウ…あるシヨク
ブツのはをつかつた）。おチャとはまたちがつたかんじで。
ただホゾンにはいろいろなやりか

たがあるのだときづいた。トウキにいれておけばハツコウしたりするし、すきとおった、トウキ、いわゆるガラスではあまりヘンカしなかったり。ハツコウしたものはつかいみちがまだおもいつかない。

ヨンジュウサン

ノウギヨウをやつて、Laissez Faire (ジユウホウニン) がダイジなんだとおもう。そりゃそれぞれのジジヨウがあるし。ダイコンなんかもほうつておいたらたねができて、しっかりそだっています。へんにてをくわえないというか。

ヨンジュウヨン

そういえば、くみかえさくもつをつくっているところがあるんだ。まあ、シユ

ウリヨウをあげたいっていうのはわかるけど、ちよつとのくみかえでもビンカンなひとはどうかとおもつてしまう。わたしもそういうのをイツカイそうじしました。シヨウクラブツドウシのエイキヨウもあるみたいで。

でも、ジュンスイにこだわつていけばシユウリヨウがおちるんだとおもう。シンカをみとめればシユウリヨウはイジだけどもとめなければおちると。それなりにていれをするわけだから。ま、またかんがえたい。きにしなきやだけど。

ヨンジュウゴ

おとなのフットボールとはどんなものか。あいてのゴールに、「ゾウトウヒン」、さけとか、ハムとか、ゴミとかをうちこむ。ゴミじゃないホウがいい。でも、セイキウシヨがとんできたならソシしなくてはいけない。ニホンのセンシュがハ

イタイしてイチネンハンたとうとしているが、もうつぎのヨセンをやっている。ただ、シヨミンにとってダイジなのは、おとなのフットボールだ。

ヨンジュウロク

おふくろのでリヨウリはなつかしい。でもとしがたつにつれシンカしたとおもう。なぜかよくつくっていたリヨウリはコンビニエンスストアのソウザイのふくろづめとしてならべられたりして、ま、つくるひとがかわっただけだが。ベンリになったことといえば、チュウカフウのリヨウリならたれをかってきてつくれたり、なべものもつゆをかってきてつくることができるようになったこと。おこのみやきがたべたかったが、それももどがあつた。たこやきのもあるんだらうか。

ヨンジュウシチ

なぜ、コウセイシヨウ（ギョウセイキカン）が、コウセイロウドウシヨウにかわったか。「コウセイ」をあるテイドしたら、つぎは「ロウドウ」をしてくださいと。ケイサンシヨウもそうだ。「ケイザイ」がよくなったら「サンギョウ」してくださいと。ま、「ロウドウ」も、「サンギョウ」もしているかな。だから、「ノウギョウ」をがんばったら、「スイサン」もしなくちやまずいかな。イチオウ ヨウシヨクのジツケンは しているけど。

ヨンジュウハチ

なぜ「ベッド」なのか、ねるのにつかうのです。ふとんでもいいはずだが。よつあしだったり、むつあしだったり。よつあしって、うしとかのうえでねる「え」

ですわ（●シチ）。おれはそんなにできたひとじゃないとなればおりのしかない。ふとんでジュウブんと。セイヨウテキナというかシハイによってカノウになるんですかね。ベツにキリストキョウトじゃないからたみにねないんです。ゲンダイの「ふみえ」かもしれせん。いすもそうですね。やっぱりザブトンですかな。

ヨンジュウキユウ

なぜかみにかいていたシヨをパソコンでうつようになつたのか。どうでもいいブンシヨをかいていたうちはきづかなかつたが、ひとつ、コウセイするてまをはぶくためだとおもう。たぶんジドウコウセイキノウをたよりにつてことなんだろう。

ゴジがみつかったらとかちよつとレッカしたらジドウテキにシユウセイ

すると。そうすれば、てまがはぶけると。しかし、ヒョウケイサンキノウはあてにできない。なぜならひどくジドウシユウセイのケツカかはわからないが、レツカしてしまつたから。それならかみのホウがアンテイしていますよ。タシヨウコウセイするのはくせとしてのこしておいたホウがよいとわたしはおもいます。

ゴジユウ

セイヒンのリョウがおおいとカンリがタイヘン。だから、レキシをとじてしまつて、おなじセイヒン、シユリヨクセイヒンだけをつくつたりするのだろう。でも、わたしはまだ、レキシをとじようとはおもわない。レキシをすすめていゝるホウがたのしいから。

エイゾウ

アルクカラ カンガエル シドクバン

Iitoga db001-7

ニセンジュウゴネンジュウニガツミツカ

ニセンニジュウニネンシチガツジュウナナニチ



エイチテイテイピーコロンスラツシユスラツシユアイアイアイアイテイオージーエ
ーピリオドショーオーエム
テイエスユーエスエイチアイエヌアットマークアイアイアイアイテイオージーエ
ピリオドショーオーエム

